

# 1. 令和2年度 事業報告について

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

日本旅館協会は、旅館ホテル業の健全な発展を図り、もって観光立国の実現、地域経済の発展、国民の健康増進に寄与することを目的としており、課題に対処するため各種委員会を設置し、会員がメリットを享受できるよう検討を進めた。

また、新型コロナウイルス対策本部を設置し、会員に向け必要な情報提供を行った。

## 1. 委員会の開催

### (1) 政策委員会

令和2年度は委員会を4回開催した。

#### ○第1回 令和2年8月17日

- ・過去の委員会の活動内容について確認し、今後取り組むべき事案について検討を行った。
- ・委員会内に2つの小委員会を設置し、各担当者を決定した。

#### ○第2回 令和2年10月12日

- ・前委員会からの引継ぎ事項である会員調書の項目について検討を行った。
- ・大地震などの災害発生時における被災の情報収集について、活用するツールの検討を行った。
- ・令和3年6月1日に完全施行されるHACCPについて、厚生労働省の担当者より策定までの手順をご教示いただいた。

#### ○第3回 令和3年1月22日

- ・原則5年ごとに実施する定期再選考について、令和2年度が実施年度にあたるため「会員資格に係る自主点検表」の点検項目について検討した。
- ・HACCPを既に策定・実施している会員施設からの意見を参考に、まずは委員会内での実施を目指して情報共有した。

#### ○第4回 令和3年3月24日

- ・全旅連青年部 次期政策委員会と合同で会議を開催した。
- ・HACCPによる衛生管理について、無料アプリの利用により、比較的簡単に実施できることが分かった。宿泊業界に特化した内容にカスタマイズするための協議を依頼した。

## (2) 労務・生産性向上委員会

令和2年度は委員会を4回開催した。

### ○第1回 令和2年9月10日

- ・各委員の施設概要および生産性向上の取り組みについて紹介し、今後の検討事項を確認した。
- ・株式会社アルメックスより、非対面・非接触商材やサービスについてご紹介をいただいた。

### ○第2回 令和2年11月16日

- ・公益財団法人日本生産性本部を交え、宿泊業の生産性向上について意見交換を行った。
- ・観光学について、大学教授と意見交換を行った。
- ・前委員会の引継ぎ事項を確認し、本年度中に取り組む事業について検討した。

### ○第3回 令和3年1月14日

- ・人手不足対策として、宿泊業界への就職を目指す専門学校の在校生との意見交換会の実施について検討した。
- ・コロナ禍により増えた、感染症対策業務を効率よくこなすためのノウハウ等についての意見交換を行った。

### ○第4回 令和3年2月15日

- ・雇用シェア（在籍型出向制度）について、仲介する産業雇用安定センターや産業雇用安定助成金の説明がなされ、出向に関する意見交換を行った。
- ・人材の定着率を高めるための取り組みと、宿泊業界における新たな資格制度の創設について検討した。

## (3) EC戦略・キャッシュレス委員会

令和2年度は委員会を6回開催した。

### ○第1回 令和2年9月4日

- ・コロナ禍における各施設の状況確認を行い、今後取り組むべき事案について検討した。
- ・前委員会であるIT戦略委員会、電子決済委員会の取り組み内容を確認した。
- ・GoToトラベル事業およびSTAYNAVIの機能の内容を確認した。

### ○第2回 令和2年10月8日

- ・Googleの担当者より、顧客を獲得するためのGoogle広告とホテル広告

の活用方法に関する説明がなされた。

- ・HRソリューションズ株式会社およびP a y P a y 株式会社を交え、キャッシュレス決済の現状と今後の展望、P a y P a y の経営戦略についてご紹介いただいた。
- ・G o T o トラベル事業の実績およびS T A Y N A V I の報告を行った。

○第3回 令和2年11月9日

- ・株式会社P a i d y より新サービスについてご説明いただいた。
- ・G o T o トラベル事業の実績およびS T A Y N A V I の報告を行った。
- ・D R S (株式会社エス・ワイ・エス) の有料化に対する今後の協会の対応、および株式会社ピアトゥーとの連携について、それぞれ検討を行った。

○第4回 令和2年12月15日

- ・クレジットカード決済時に発生する施設利用料や多重予約の問題について、株式会社一休との意見交換会を実施した。
- ・G o T o トラベル事業の実績およびS T A Y N A V I の報告を行った。
- ・D R S の今後の対応について検討を行った。
- ・株式会社ピアトゥーとの連携について検討を行った。

○第5回 令和3年1月29日

- ・G o T o トラベル事業の実績およびS T A Y N A V I の報告を行った。
- ・クレジットカード決済について、低廉な手数料で利用可能になる方法を検討した。

○第6回 令和3年3月4日

- ・G o T o トラベル事業の実績およびS T A Y N A V I の報告を行った。
- ・クレジットカード決済について、低廉な手数料で利用可能となるよう引き続き検討していくこととした。

2. 支部連合会ごとに連合会長の判断でテーマを決めセミナーを企画した。

セミナーの開催実績は下記のとおり。

(1) 北海道支部連合会

令和2年5月29日 北海道札幌市

- ・海外人材の現状と技能実習制度について

(2) 東北支部連合会

令和2年7月14日 宮城県仙台市

- ・今こそ取り組むべき新型コロナウイルス感染予防

令和2年12月4日 宮城県仙台市

- ・旅館・ホテルにおけるワーケーションの適正化とは

(3) 北陸信越支部連合会

令和2年12月2日 新潟県南蒲原郡田上町

- ・コロナウイルス感染防止対策について

令和2年12月8日 長野県長野市

- ・Withコロナ守りと攻めの感染対策 ～どうしよう迷ったら～
- ・コロナ禍における宿泊施設の新しい取り組み ～地域全体で取り組む地方創生～

令和2年12月9日 長野県諏訪市

- ・Withコロナ守りと攻めの感染対策 ～どうしよう迷ったら～
- ・コロナ禍における宿泊施設の新しい取り組み ～地域全体で取り組む地方創生～

令和2年12月9日 石川県金沢市

- ・働き方改革について
- ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理
- ・コロナウイルスの感染症対策について

(4) 関西支部連合会

令和2年10月8日 YouTube配信

- ・コロナ禍だからこそ、今経営者がやるべきこと、そして生産性向上
- ・生産性向上における成功・失敗事例

令和3年3月16日 大阪府大阪市

- ・非常時におけるWEB集客
- ・おてつたびについて
- ・三密代官について

(5) 四国支部連合会

令和3年2月4日 愛媛県松山市 リモート同時開催

- ・新型コロナ感染症の現在地 ～予防とワクチンを含めて～

3. 営業状況等統計調査検討会

令和2年度は検討会を3回開催した。

○第1回 令和2年7月22日

- ・令和3年度からの回収方法、また回答数を増やす手法について検討を行った。  
回答入力の負担軽減とペーパーレス化による経費削減のため、紙媒体での調査は廃止しすべてWEB上で行うこととした。

○第2回 令和2年10月28日

- ・調査票の項目について精査し、回答者が享受できるメリットを検討した。
- ・合計値の自動計算の導入により、手計算の手間をなくし簡素化することとなった。
- ・回答入力することで宿泊業界内での自社の立ち位置がわかる分析機能を付与することを決定した。
- ・会員情報はあらかじめ回答入力フォームに反映されている状態にすることに決定した。

○第3回 令和3年3月19日

- ・システム開発の依頼先を株式会社Local24に決定した。
- ・調査票の作成・送付・結果出力方法などについて検討を行った。

4. 各種委員会、検討会等への参画

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
- (2) 観光立国推進協議会
- (3) ツーリズムEXPOジャパン組織委員会
- (4) 国際ホテル・レストラン・ショー企画委員会
- (5) 政府観光局との意見交換会
- (6) 双方向交流促進委員会
- (7) 日本の宿おもてなし検定委員会
- (8) 日本旅館の生産性向上・インバウンド対応の強化等を加速するための新たなビジネスモデルのあり方等に関する検討会
- (9) 宿泊分野特定技能協議会
- (10) 一般社団法人宿泊業技能試験センター理事会
- (11) 非常時における外国人旅行者の安全・安心の確保に向けた検討会
- (12) 国内観光促進委員会
- (13) 地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修に関する検討会
- (14) 上質なインバウンド観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会

5. 機関誌『日本の宿』の発行

機関誌『日本の宿』を4回発行し、会員に対し情報提供を行った。

6. HOTERES JAPAN および FOODEX JAPAN の共同開催

主催団体の一員として、令和3年2月16日（火）から19日（金）まで東京ビッグサイトで開催された第49回 国際ホテル・レストラン・ショーにおいて『アフターコロナ時

代を切り拓く地方の挑戦』というテーマのもと、日本旅館協会主催のセミナーを開催した。

また、令和2年7月29日（水）から31日（金）までインテックス大阪で開催された第12回 関西ホテル・レストラン・ショーのオープニングセレモニーに出席した。

さらに第46回 FOODEX JAPANが令和3年3月9日（火）から12日（金）まで幕張メッセで開催された。

## 7. 保険事業の実施

日本旅館協会では旅館賠償責任保険、宿泊客個人賠償責任保険などを取り扱い、手数料収入により日本旅館協会の財政に寄与することとなった。

## 8. 国等への要望

自民党の「予算・税制等に関する政策懇談会」で業界としての要望を行うとともに、自民党「観光立国調査会」「観光産業振興議員連盟」などに出席し、宿泊業界の現状と課題解決に向けた方策について意見を述べた。

また、日本旅館協会顧問に就任していただいている国会議員を中心に要望活動を実施した。

## 9. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス対策本部では、宿泊業界の現状を訴え、国会議員に陳情し要望活動を実施した。

日本旅館協会・観光庁・金融庁・中小企業庁等との共催で、宿泊事業者の金融支援等に関し、「地域別金融機関との懇談会」を全国9ブロックに分け、ブロック別で開催した。

「助成金などの支援制度対策」と「集客促進・消費促進」を主な活動とし、雇用調整助成金・持続化給付金・資本金劣後ローン・特別貸付の拡充・GoToトラベル取消料対応費用の申請など、会員に有益な情報の発信を定期的に行った。